

# 「じんけん」ぽん

(2011.04/ NO.84)



〔発行〕 社会福祉法人 生活クラブ 柏市地域生活支援センター あいネット

〒277-0004 柏市柏下 65-1 ウェルネス柏内 TEL04-7165-8707 FAX04-7165-8709

HP. <http://ai-net.a.la9.jp/> e-mail. [ainet@kazenomura.jp](mailto:ainet@kazenomura.jp)

※あいネットのメールアドレスが変更になりました。よろしくお祈り申し上げます。

東北関東大震災により被災された皆様、そのご家族の方々へ心よりお見舞い申し上げます。1日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

## あいネット相談 - 1年の振り返り



平成22年度も1年間関係各機関の方々には大変お世話になりました。今回は今年度のご相談をデータから振り返らせてみたいと思います。

まずは全体的なことから。

1年間（現時点で2011年2月迄の11カ月）の総相談件数（延べ）は、5,412件で月平均約500件、1日平均23件でした。延べ件数ではなく、相談者数で言うと、年間で1,171名、月平均約100名の方のご相談をお受けしていたこととなります。毎月新規に相談される方が約40名で比率では40%が新規、残りの60%が継続の方です。

次に支援方法ですが、電話が約80%、メールが4%、手紙が1%未満、訪問が11%、来所が7%となります。メール相談は発達障害や精神障害をお持ちの方が多く利用されており、口頭で意思表示が苦手な方にとって有効な手段になっているようです。あいネットは訪問にも力を入れており、必要があれば積極的に訪問支援を行っています。訪問件数は年間600件を超え、月平均52件、2011年が明けて1、2月は70件を超える訪問を行っています。訪問により家族全体に関わりを持ち、より効果的な支援を目指しています。支援対象となる方の世帯ですが、単身世帯の方が全体の35%、ひとり親世帯の方が同26%と合わせると60%を超えます。

相談する家族が身近に居ない方からの相談が多く、未婚や離婚（死別）という現実が生活に及ぼす影響が大きいことが想像できます。また、高齢者の支援対象の方は全体の6%と、包括支援センター等の高齢者支援が広く広報され利用されているものと思われまます。相談内容は、ここ数年の社会状況を反映して経済問題、住まい、仕事の問題が多くなってきておりこの3つの相談で全体の30%に上ります。経済問題だけで月100件を超えることもあります。

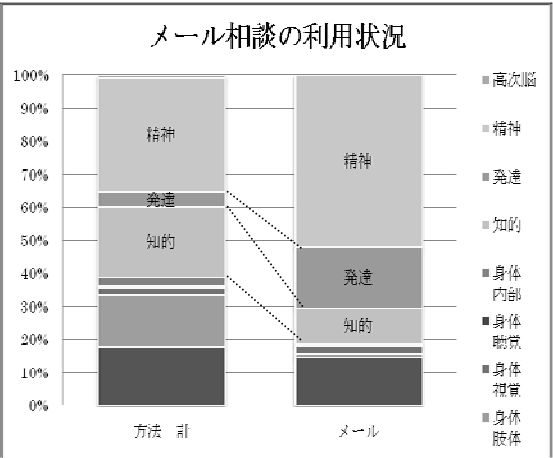
また柏市の行政機関や事業所との連絡も多くそれぞれ月平均60回、50回ほどの連絡相談を行っています。事業所も福祉系の事業所さんだけではなく、司法書士等の法律の専門家、不動産屋、引越業者等、多岐にわたっています。また、同一のご相談者に対して数か所の行政や事業所との連絡相談もありトータルな支援が求められていることが分かります。以上が全体的な傾向です。

もう少し見ていきますと、(もちろん、あいネットにあった相談ではという前提です) 全体として単身の方からの相談は35%ですが、精神の方が46%を占めており精神障害をお持ちの方が単身を余儀なくされている現状が見られ「地域との繋がりの重要性を感じます。また肢体に障害をお持ちの方にひとり親の方が多く子供の障害の家族への影響を感じます。

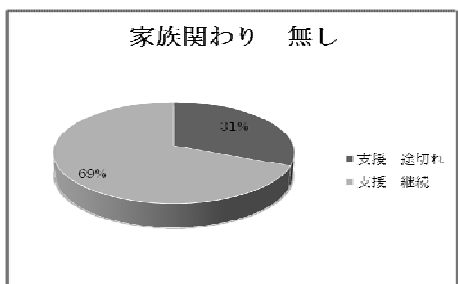
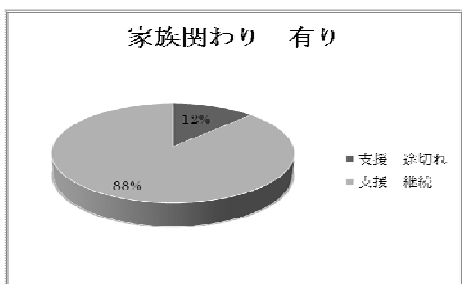
知的および発達障害をお持ちの方からの相談は住まいや経済が多く、就労の現実の難しさを感じます。特に発達障害の方は事業所との連絡回数が多くなっており、きめ細かな繋がりが必要であると感じます。

また精神障害をお持ちの方からの相談では、医療への繋ぎや同行のご相談が多く適時適切な受診行動への支援を地域として取り組んでいく必要性も感じます。また生活保護という最後のセーフティネットを利用されている方のご相談は全相談者の20%弱を占め、その中で精神障害をお持ちの方が60%を超えています。精神障害の方の就職がなかなか難しい現状であることを含め社会的に何か仕組みが必要なのではないかと思えます。

最近になってようやく世の中の理解が進んできた高次脳機能障害に関する相談は、60%超が福祉サービスへの繋ぎでありまだまだサービスに繋がっていらっしゃらない方が多いことが分かり、より一層の啓発活動が必要だと感じます。



### 家族の関わりによって支援が継続



また、相談過程で支援対象者以外の家族が登場された場合と、されな場合で支援の継続に影響があるかを見たところ、登場されない場合、約70%の支援が継続し、登場された場合は実に約90%の支援が継続しており、20ポイントの差がありました。相談機関としていかに家族との関わりを持つていくかも重要なポイントになりそうです。

**自分から積極的に**  
「おかげさまであいネットは2011年度も柏市地域生活支援センター事業の委託を受けることになりました。今後もよろしくお祈りいたします。」

以下、職員1年の振り返りを記しました。

☆相談員全員、「相談」に育てられる毎日。どこまでやるの？とか終わりが見えないなど、悩むことも。この仕事では自分で抱え込んでしまうことに要注意。悩む人に寄り添う姿勢は大事だけれど、人の悩みを同じく悩むのではないと言いつつ。さて自分ができてるかな？(永)

☆あいネットに入って4カ月間ご相談者の皆さまに教えられ、色々な方々に支えられて今日までなんとかやっていくことができました。感謝です。40万人40万色。全ての人がご自身の色を綺麗に出せますように。ホンの少しだけ役立てればと巨大な目標。。。(吉)

☆この1年間は皆様のご協力があったからこそ乗り越える事が出来ました。本当におかげさまでございました。これからも皆様と一緒に、利用者様のために何が出来るかを考えていきたいと思えます。今後とも宜しくお願いします。(白)

☆日々の業務のなかで、周りの方々に支えられ今日まで来ることができました。今後とも感謝の気持ちを大切に、相談を通じて自身も成長していけたらと思います。今後ともよろしくお祈り致します。(川)



# 東北関東大震災と臨時自立支援協議会



3月11日の東北関東大震災により、東北地方の太平洋沿岸部を中心に被災地は甚大な被害を受けた。千葉県でも、家屋の倒壊や液状化現象等により、生活に支障をきたしている方たちが大勢いる。福島からは220人程の方たちが柏市に避難しており、市では中央公民館を避難所として開放した。真冬のような寒さと余震の続く中、被災した方々の話を聞く度に辛くなる。

あいネットでは、震災が柏市の障害者施設へ与えた影響について、電話による聞き取りと障害福祉課からの資料を元にまとめた。(3月16日～20日までの聞き取り) 震災の影響により、「困った事(支障のあるサービス)は何ですか?」の問いでは、「送迎」と答えた施設が最も多く、次いで「食事の提供」、「電車の運休」の順であった。

「送迎」では、送迎サービスを行っている障害者施設では「燃料不足により送迎が出来ない」「現在は自力通所出来る方のみ利用になっている」と答えた施設が多くあった。

「食事の提供」では、被災の影響により、食材が不足し、施設の昼食を用意できない施設がみられた。「昼食は持参してもらう事に対応している」という施設もあった。

「電車の運休」では利用者だけでなく、スタッフの通勤にも影響が出たという声も上がった。

その他には、「停電の影響で暖房が使えない」「停電中は作業が出来ない」「利用者の出席率が低下している」と答えた施設もあった。

震災後は開所日や開所時間を減らしている事業所も多くみられた。特に、障害のある子ども達を預かる児童デイや日中一時では、送迎車の燃料不足や停電等の影響による安全策として、休所する施設がいくつかあった。「これから春休みを控えているため、いつも以上にこの支援サービスは必要とされる。一日も早くガソリンの供給と停電の回避等がなされ、保護者も施設も安心して開所できる事を切に願う」との声も上がった。

3月22日に開催した臨時自立支援協議会では、今回のガソリンや交通事情で通えなくなった利用者や職員を施設間で相互に調整したりできるよう、障害福祉課が聞き取りを集約し、各施設に再送付すること、それを施設間で活用するといふのと話し合い、早速、25日に「通所困難者の状況」として送られたところ。その他、できるだけの確に必要な情報(刻々と変化する情報も含め)、集め・流すという形を考えていく必要があることなど、災害のレベルを想定しつつ話し合いました。自立支援協議会にとっても「災害に備えることや支援すること」は、大きなテーマのひとつになっていくことと思えます。

## 東北関東大震災 インフォメーション

### ＝東北関東大震災 被災地での看護職・介護職等のボランティア募集＝

活動主体:東北関東大震災・共同支援ネットワーク ★ブログ <http://kyoudounet.jugem.jp/>

【構成団体】(順次仲間を募っていきます)

宅老所・グループホーム全国ネットワーク、特養・老健・医療施設ユニットケア研究会、特養をよくする特養の会 他多数

#### ■活動目的

職員自身も被災者であるなか、介護施設・事業所及び地域の高齢者の心身の疲労も重くなっています。そこで、ボランティアの募集・受け入れ調整のためのネットワークを立ち上げました。

#### ○ボランティア募集の職種と活動先

##### 【職種】

1. 介護職・看護職
2. 生活支援コーディネーター
3. 事務局コーディネーター

##### 【活動先】

介護施設や在宅介護サービス事業所など  
避難所や高齢者宅などへの訪問、地域サロンの実施、被災家屋の片づけなど  
ニーズとボランティアの調整

#### ○「活動資金」募集

ボランティア派遣や、復興支援などの活動に必要な活動資金のご協力をお願いします。  
送金先は、以下の通りです。

・仙台銀行 北山支店 普通 3163091 ・東北関東大震災・共同支援ネットワーク 会計 堀切 明美(ホリキリ アケミ)

※振り込みの際、名義にご注意ください。「大地震」でなく、「大震災」が正しい名称です。

#### ○「支援物資等」募集

食料品、日用雑貨、燃料(ガソリン・灯油)等。詳細については、ご連絡をお願いします。

■第一次活動期間:2011年3月17日～4月17日(日)まで

#### ■事務局

国見・千代田のより処「ひなたぼっこ」 担当:大泉、千葉、池田 HP <http://www.clc-japan.com>  
〒981-0936 TEL:022-301-8820 FAX:022-301-8821 携帯電話:080-1651-6420 E-mail:kyoudounet@gmail.com

### ＝東日本大震災の被災者支援募金のお願い＝

活動主体:NPO法人ホームレス支援全国ネットワーク

3・11日午後発生した東北関東大地震は、現在も全容が分からないほど、大規模で甚大な被害が出ています。私たちは、家なき人々、路上の困窮者の支援を長年行ってまいりました。現在、東北一帯で数十万という人々が家を失い、避難所で、また路上で過ごされています。この家なき人々の叫びにどう応えるかを全国ネットして模索しています。また、この震災の中でホームレスがさらなる災害弱者にされないように、支援したいと思えます。全国ネットワークとしては、現地の団体と協力しつつ、被災者支援を開始しました。現在、仙台地区におきましてワンファミリー仙台と仙台夜まわりグループが被災者に向けて炊き出しを開始しています。どうぞ、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

NPO法人 ホームレス支援全国ネットワーク 理事長 奥田知志

※詳細は法人ホームページ、または事務局(福岡県北九州市八幡東区荒生田2-1-32。TEL:093-571-1100)まで。